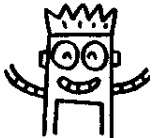


サウジアラビアと日本は、どんな結びつきをもっているの



日本が原油・石油製品・液化石油ガスを輸入しているんだよ。

アラビア半島の大部分をしめるサウジアラビアは、サウド家が支配する王国です。1933年に、石油を開発する権利を、アメリカの石油会社にあたえました。1938年に油田が発見され、第2次世界大戦後に石油生産量が増えて、石油の輸出による収入が増えました。このばく大な石油収入をもとに、国づくりを進めています。日本とは、1954年から国交をしています。

貿易面での結びつき

日本にとってサウジアラビアは、原油で第2位、石油製品(揮発油・灯油・軽油・重油など)で第3位、液化石油ガスでは第1位の輸入先です(1998年)。日本からは自動車・電気機械・鉄鋼などを輸出していますが、輸入額のほうが輸出額を大はばに上回っています。サウジアラビアにとって日本は、輸出で第1位、輸入で第3位の貿易相手です(1997年)。

カフジ油田と経済・技術協力

1960年から日本の石油会社が、サウジアラビアのカフジを基地として、ペルシャ湾(アラビア湾)で石油を採掘していましたが、サウジアラビアが権利をもつ部分での採掘は、2000年2月に終わり、クウェートが権利をもつ部分だけの採掘になりました。1975年には、日本とサウジアラビアの間で、経済技術協力協定が結ばれました。日本はこの協定にもとづき、サウジアラビアの工場や専門学校、海水から真水をとる淡水化事業などに、技術協力をしています。また、日本から、工業・保健医療などの専門家や調査団を派遣したり、工業・通信・放送などの分野で、サウジアラビアから研修生を受け入れたりしています。